

時代が求める看板づくりで、 街を華やかに演出し続ける

昭和51年4月、現社長の父で先代の山上昌三氏が創業。看板のフレームと塗装仕上げを中心に、事業を展開してきた。平成2年に鶴見緑地で開催された国際花と緑の博覧会では、パビリオンや飲食店の看板製作を請け負った実績ももつ。平成4年5月には、有限会社として設立。現在は、バブル後の厳しい時代を経験した山上繁則氏が社長を務める。昔と異なり、多彩なデザインで人目を引くことに主眼が置かれる業界事情にも柔軟に対応。街を華やかに演出し続けている。

住 所 | 〒570-0042 大阪府守口市寺方錦通4-2-26
TEL | 06-6998-6924 FAX | 06-6998-6927
創 業 | 昭和51年4月 設 立 | 平成4年5月
資本金 | 300万円 従業員 | 3名
H P | <https://www.sign-nishiki.com/>

■主な事業内容

看板枠やそれらに関連する金物類の製作

■主な取引先（納品先）

(有)平成美装、オーエム工業(株)、ファンファクトリー(株)など



WEBサイト



有限会社錦鉄工所



代表取締役

山上 繁則 さん

培った看板製作の技を守りながら 時代に則したものづくりにも挑戦

昭和51年4月に父が立ち上げた鉄工所を、平成4年5月に有限会社を設立して法人化しました。創業以来、事業の軸は看板のフレーム製作と塗装仕上げが中心。お客様から求められれば、現地に看板を取り付けに行く業務まで対応してきました。

最近では、SNSを使った営業活動で新規顧客獲得にも力を入れています。また、製品も看板だけではなく旗物の取り付け部材やLED照明周りの部材など、建築物関係にも事業を拡大しているところです。長年培った鋼材の組み立てノウハウを大切にしつつ、時代に則したものづくりにも挑戦してまいります。



製作中の看板フレーム



フレームの溶接にもプロの技



研磨作業

推 し ポ イ ン ト

人 間 関 係

和気あいあいとした
家族のような町工場。
互いに認め尊敬し合う



現在、錦鉄工所の従業員数は3名。作業場は、小規模体制ならではの働きやすい雰囲気にも包まれている。「小さな町工場ですから、キャリアや年齢、立場などを全く気にせず接し合っています。和気あいあいとした、家族のような感覚ですね」とは山上社長の談。一方で、人と人の距離が近くコミュニケーションが密でありながら、過度に干渉し合わない風通しの良さも特長だ。

また、山上社長を含む従業員の間には、それぞれが持つ高い技術力を互いに認めリスペクトし合う関係性が成り立っている。助けられたり助けたり、責任を押し付けるのではなく皆で全うしようとするのが、錦鉄工所の流儀だ。